

# 李白「黄鶴楼送孟浩然之広陵」確認テスト（漢詩） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

---

問1 黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る。

問2 旧友（孟浩然）は、西にあるこの黄鶴楼に別れを告げて（旅立ち）。

問3 ・誰を指すか＝孟浩然。／・意味＝古くからの友人。旧友。

問4 西（黄鶴楼が西にあるので、揚州はそこから見て東の方角にあたる）。

問5 霞がかかり花咲き乱れる、うららかな春三月に、（長江を下って）揚州へと下っていく。

問6 春霞がたなびき、花が咲き乱れる、うららかな晩春の美しい景色。

問7 ただ一つ浮かぶ帆かけ舟の遠い姿も、やがて青空の彼方に消えてしまい。

問8 ・何を指すか＝孟浩然の乗る、ただ一そうの帆かけ舟。／・「孤」に込められた感じ＝広い川面にただ一つだけ浮かぶ舟を「孤」と表すことで、友を見送る作者の寂しさ・心細さがにじみ出ている。

問9 遠ざかる帆かけ舟の姿が、しだいに小さくなり、ついには青空の彼方に消えて見えなくなる様子。

問10 （後に）ただ、長江が空の果て（水平線）へと流れていくのだけが見えるばかりだ。

問11 空と川（長江）とが接して見える、はるか遠くの空の果て。水平線のあたり。

問12 七言絶句（しちごんぜっく）。

問13 一句が七字で構成され、全部で四句から成るため。一句五字・四句なら五言絶句だが、本詩は一句七字なので「七言」、四句なので「絶句」となる。

問14 楼・州・流（第一・二・四句の末字）。／いずれも同じ響き（うー）の韻で結ばれている。

問15 第一句＝起、第二句＝承、第三句＝転、第四句＝結。（起承転結）

問16 黄鶴楼のある場所から、長江の流れに乗って下流（東方）にある揚州へ、舟で下っていくことを表している。

問17 作者は黄鶴楼（長江のほとり）にとどまり、友の舟が見えなくなってもなお、長江がはるか彼方へ流れゆくさまをじっと見つめ続けている。

問18 親しい友・孟浩然との別れを惜しむ、深い寂しさ・名残惜しさ。

問19 情景描写（じょうけいびょうしゃ）。／友を惜しむ心情を直接述べず、消えゆく帆と流れゆく大河の景色に託して表す工夫。（「景に情を託す」表現。）

問20 詩仙（しせん）。

問21 盛唐（せいとう）。

**問22** 季節＝春（晩春）。／根拠＝「煙花（春霞と花の景）」「三月（陰暦三月＝晩春）」とあることから。